

令和8年6月21日(日曜日)実施 出水期前防災訓練のてびき

6月21日 午前8時30分 避難情報発令

訓練当日は、「ながおかDメールプラス」「長岡市公式 LINE」「長岡市公式X」で情報発信を行います。今回の避難情報は、「**警戒レベル3 高齢者等避難**」です。河川の指定はしませんので、お近くの河川にて災害発生のおそれがあると想定して訓練を行ってください。



「警戒レベル3 高齢者等避難」とは

(※ 令和3年5月20日に「避難準備・高齢者等避難開始」から改称されました)



- 長岡市が、気象情報や河川水位情報等から総合的に「災害発生のおそれあり」と判断した時に発令されます。
- 長岡市が指定している「指定緊急避難場所」が開設されます。

- 各地域にお住いの避難に時間を要する高齢者等が、危険な場所から避難を開始する情報です。
- 「高齢者等」には、障害がある人や、「高齢者等の方」の避難を支援する人も含みます。
- 「高齢者等」以外の人(乳幼児・児童)も必要に応じ避難準備をしたり、自主避難を行う情報です。

出水期前防災訓練の3本柱

はじめは3種全て出来なくても構いません。
振り返りをして改善していきましょう。

「出水期前防災訓練」は、『情報伝達』『避難行動』『安否確認』の3点を重視した訓練となります。訓練に参加する団体は、この3点について事前準備と当日の動きを意識して取り組んでください。

『情報伝達』

災害が発生した時、避難指示や被害状況などを早く、確実に共有出来るように訓練することが重要です。

特に水害では、気象情報や河川水位情報から危険をある程度予測できるため、素早い情報収集と伝達が必要です。テレビやラジオ、インターネットなどで情報収集を行い、電話やSNSで伝達、共有するなど、状況に応じて多様な情報伝達の体制を検討してみましょう。

伝達の速さ、正確さの面から
SNSの活用を勧めます

(参考資料)

○別紙1:「災害時の情報収集の方法を確認しましょう」

訓練や実災害時に利用出来る情報ツールを掲載しています。平時から登録しておくことを勧めます。

裏面につづきます

『避難行動』

水害、土砂災害、津波の警戒区域にある要配慮者利用施設は避難確保計画の作成が義務付けられています

災害が発生した時、安全な場所へ早く、落ち着いて避難できるよう、事前に避難確保計画を作成し、共有しておくことが重要です。

特に水害では、浸水深や建物の構造によって、施設ごとに避難先や経路が異なります。

「まずは浸水想定区域外に避難するか、垂直避難するかを検討し、いずれも出来ない場合、市が開設する避難所等に避難する」という考え方が「長岡方式の避難行動」です。

施設で作成した避難確保計画やハザードマップを改めて見返し、周辺の災害リスクを確認するところから始めましょう。

(参考資料)

○別紙2:「長岡方式の避難行動(信濃川)のイメージ」

「長岡方式の避難行動」について説明しています。避難計画を検討する際の参考としてください。

『安否確認』

災害が発生した時、職員や施設利用者の安全と所在を把握できるよう、安否確認の体制づくりが重要です。

特に水害では、避難先や経路が多様なため、安否確認の手段も多様化する必要があります。

浸水想定区域外に避難した場合、垂直避難した場合、避難所に避難した場合、それぞれの安否確認をどのように行うか、またどのように情報を取りまとめるか検討し、全員の安否確認を行うことを目指しましょう。

基本的な準備として、安否確認用名簿、安否確認方法(誰が、いつ、どこで、どうやって)を定めておくことを勧めます。171番(災害用伝言ダイヤル)や SNS の安否確認機能も効果的です。

訓練の振り返り

各種訓練に取り組んだ後は、振り返りを行いましょう。当初計画していたとおりに実践出来たか確認し、今後の改善点や対応を検討してください。

防災訓練を実施した後は、「訓練実施結果報告書」を危機管理防災本部に提出してください。

報告書の様式は「ながおか防災ホームページ」上、避難確保計画様式「施設の防災タイムライン」内にあります。

※下記 URL のページに「施設の防災タイムライン」の Excel ファイルが掲載されています。

<https://www.bousai-city-nagaoka-niigata-jp.cache.yimg.jp/preparing/facilities-people-special-needs.html>

訓練についてのお問い合わせは

長岡市危機管理防災本部

電話:0258-39-2262(平日午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで)

メール:bousai@city.nagaoka.lg.jp FAX:0258-39-2283